

学校名	南相馬市立金房小学校	校長	遠藤 俊一
住所	南相馬市鹿島区寺内字落合28 鹿島中学校内仮設校舎 [本校舎] 南相馬市小高区飯崎北原61-1		
TEL	0244-46-3569	ホームページアドレス	http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=166



“たくさんの方々に支えられ・・・ 元気いっぱい、笑顔いっぱい、花いっぱい金房小学校”

金房小学校は、平成25年度より鹿島中学校内仮設校舎にて、福浦・鳩原小学校とともに教育活動を推進しています。

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の影響により、県内外で80余名の児童が区域外就学をしていますが、仮設校舎では25名の児童が元気いっぱい笑顔いっぱいで生活しています。



■■教育目標■■

- ◇進んで学ぶ子ども
 - ◇思いやりのある子ども
 - ◇健康な子ども
- 重点目標□□・・・“自分から行動しよう”
- 自分の考えを伝えよう
 - みんなのために活動しよう

最先端の技術にふれる！

～夢のような道具を形にして～

昨年11月に完成した仮設体育館を会場に、ゲストティーチャーによる特別授業を実施しました。講師は、4年生が国語科で学習する単元「わたしたちの生活とロボットについて考えよう」の著者である東京理科大学教授の小林宏先生でした。今回は著者という立場だけでなく“マッスルスーツ”の開発者という立場で、様々な視点からお話をいただきました。



【熱く語る小林先生】



【思ったより軽いよ！】

“マッスルスーツ”とは、人工筋肉の収縮を利用し、重いものを持ち上げるときの負担を軽減できる魔法のような装置です。小林先生のお話の後に、子どもたちは“マッスルスーツ”を試着し「後ろから引っ張られる力の強さにびっくりした。」「思ったより軽い！」などと感想を述べていました。最先端の技術にふれた子どもたちの顔は、驚きと感動の表情でいっぱいでした。

この“マッスルスーツ”が、金房小学校の学区内に新設される工場で製造されるということで小高区のさらなる復興に貢献できるのではないかと期待しています。



花いっぱいになあれ！

～寒さに負けず冬を越す花のように～



【美化園芸委員会活動】

仮設校舎を何とか自分たちの手で少しでも明るく潤いのある学校にしたいという切なる願いから、草花栽培活動を中心とする環境緑化活動への取組を推進しています。困難な状況にある子どもたちが自分の手で種や苗を植え、愛着をもって手入れをすることにより、栽培の知識や勤労の喜びを味わい、同時に、自然を愛する態度や豊かな心が醸成されることを願っています。昨年度は、この取組が評価され、「花いっぱい県民運動」において、『福島県教育委員会教育長賞』をいただきました。

たくさんの方々との関わりを大切に、感謝の心を忘れず、しなやかでたくましい、困難な状況にも負けない心をもつ子どもたちを育てていきたいと願っています。

一人一人の笑顔が輝く金房小学校